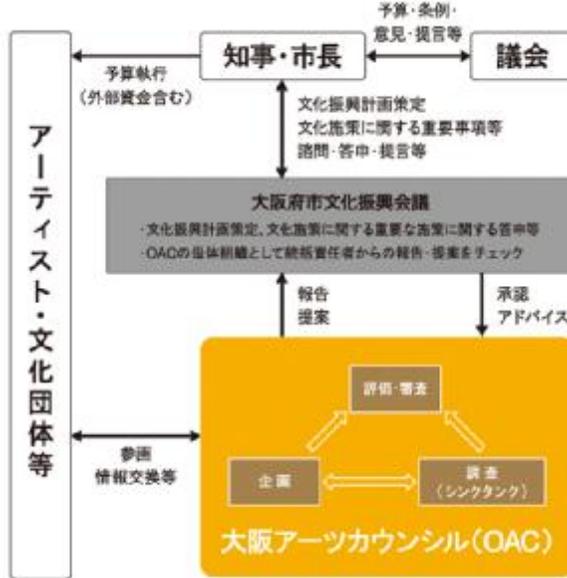


## <大阪アーツカウンシルの設置>

文化施策を推進する新たな仕組みとして、行政と一定の距離を保ち、芸術文化の専門家等による評価・審査を行うアーツカウンシル部会（通称：「大阪アーツカウンシル」）を大阪府市文化振興会議の部会として平成25年度に設置。

評価機能（府市文化事業の検証・評価及び改善提案、補助事業採択の審査等）、企画機能（新たな事業やパイロット事業などの企画・立案等）、調査（シンクタンク）機能（情報の収集、分析、提供）によって府内の文化施策を推進。

事業の仕組み



【委員構成】  
 統括責任者 1名  
 アーツカウンシル委員3名  
 補助金審査担当委員5名  
 アーツマネージャー13名  
 (H27.5月末現在)

## <主な取り組み内容>

### ◇評価機能

#### ○府市文化課所管事業の検証・評価等の実施

- ・府市文化課所管46事業（府18事業、市28事業）を中心に延べ約100件の現地調査を実施し、各事業の評価と提案内容を取りまとめ【H25】
- ・シンポジウム等企画21回、補助金採択審査会7回等を通じて府内の文化事業の現状を把握【H25】
- ・平成25年度の事業評価結果や、提案内容に対する取り組み状況を中心に府市文化課所管44事業（府19事業、市25事業）の評価と提案内容を取りまとめ【H26】
- ・上方演芸資料館の施設の方向性、文楽協会への補助のあり方等の個別課題の検討のため、現地調査や関係者ヒアリング等を実施し、提言を取りまとめ【H25、H26】

### ◇企画機能

#### ○府内の文化事業の現状分析をもとに、新たな文化事業の企画を提言【H26】

- ・府内の文化事業の現状分析  
 大阪は、「文化資源は豊富だが、ジャンル間のつながり交流が薄い」。結果的に、文化力が「見えない」、「都市魅力」等に応えられないことが課題。事業を実施するプロデューサー等の人材不足は特に深刻。
- ・課題解決のための提言  
 同じエリア、同じ時期に文化事業を結集し、大阪の文化力を「見せる」。まずは、文化的インフラの蓄積がある中之島界隈で事業を実施。実験、挑戦、成果を蓄積し、「新たな人材、新たな知恵、あらたな手法の開拓」にも取り組む。
- ・事業実施に向けた機運の醸成  
 府内で活躍する40歳以下を中心とした若手プロデューサー等に呼びかけを行い、「U40ミーティング」を開催し、ジャンル間の交流や新規事業実施に向けたキックオフを実施。



### ◇調査機能、その他

#### ○事業評価の質の向上や評価する人材育成の取り組み

- ・府市の文化事業を題材としたアーツマネージャー育成講座の実施【H27】

#### ○アーツカウンシルの情報発信強化の取り組み

- ・アーツカウンシルホームページの開設【H25】
- ・アーツカウンシル出張ルームの設置（江之子島文化芸術創造センター内）【H26】

## 【アーツカウンシルの取り組みをもとにした文化施策の推進】

- 提言をもとにした新たな文化事業の実施 ⇒ 芸術文化魅力育成プロジェクトの実施(H27.10～11)  
 アート、音楽、演劇等の大阪にある優れた文化事業を結集し、磨きをかけ、強力発信するため、府内の若手プロデューサーが果敢に挑戦して合同で作り出すプロジェクトを具体化(準備作業中)  
 ・「知る」プログラム……上方伝統芸能のショーケース、ワールドミュージック公演等  
 ・「体験する」プログラム……上方伝統芸能の体験ワークショップ、伝統芸能と現代アートのトーク  
 ・「本物を見る」プログラム…伝統芸能と現代アートのコラボレーション公演、新作演劇の公演等

#### ○事業の検証評価をもとにした文化事業のPDCAサイクルの取り組み

提言やアドバイスに対して対応可能なものから直ちに具体化  
 例) 上方演芸資料館の直営による機能強化、補助金説明会の合同実施、個別事業の見直し等

#### ○アーツカウンシルによる情報発信の強化(ホームページアクセス件数の推移)

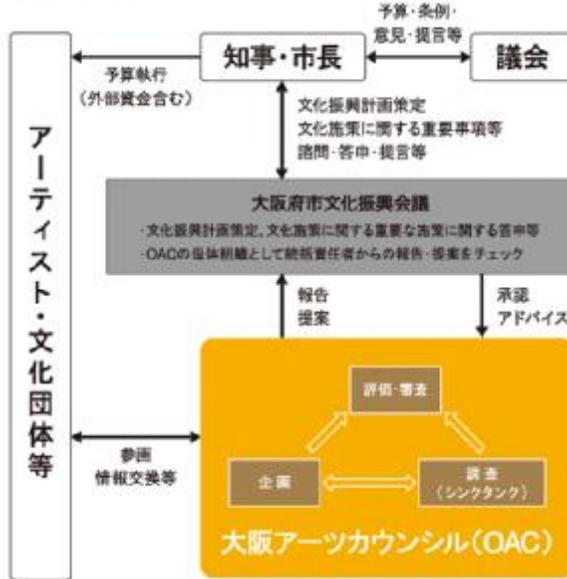
H26.4～H27.3 35,107件(月平均 @2,926件)  
 H27.4～H27.5 8,743件(月平均 @4,372件)

### <大阪アーツカウンシルの設置>

文化施策を推進する新たな仕組みとして、行政と一定の距離を保ち、芸術文化の専門家等による評価・審査を行うアーツカウンシル部会（通称：「大阪アーツカウンシル」）を大阪府市文化振興会議の部会として平成25年度に設置。

評価機能（府市文化事業の検証・評価及び改善提案、補助事業採択の審査等）、企画機能（新たな事業やパイロット事業などの企画・立案等）、調査（シンクタンク）機能（情報の収集、分析、提供）によって府内の文化施策を推進。

事業の仕組み



【委員構成】  
 統括責任者 1名  
 アーツカウンシル委員3名  
 補助金審査担当委員5名  
 アーツマネージャー13名  
 (H27.5月末現在)

### <主な取り組み内容>

#### ◇評価機能

##### ○府市文化課所管事業の検証・評価等の実施

- ・府市文化課所管46事業（府18事業、市28事業）を中心に延べ約100件の現地調査を実施し、各事業の評価と提案内容を取りまとめ【H25】
- ・シンポジウム等企画21回、補助金採択審査会7回等を通じて府内の文化事業の現状を把握【H25】
- ・平成25年度の事業評価結果や、提案内容に対する取り組み状況を中心に府市文化課所管44事業（府19事業、市25事業）の評価と提案内容を取りまとめ【H26】
- ・上方演芸資料館の施設の方向性、文楽協会への補助のあり方等の個別課題の検討のため、現地調査や関係者ヒアリング等を実施し、提言を取りまとめ【H25、H26】

#### ◇企画機能

##### ○府内の文化事業の現状分析をもとに、新たな文化事業の企画を提言【H26】

- ・府内の文化事業の現状分析  
 大阪は、「文化資源は豊富だが、ジャンル間のつながり交流が薄い」。結果的に、文化力が「見えない」、「都市魅力」等に発展しないことが課題。事業を実施するプロデューサー等の人材不足は特に深刻。
- ・課題解決のための提言  
 同じエリア、同じ時期に文化事業を結集し、大阪の文化力を「見せる」。まずは、文化的インフラの蓄積がある中之島界隈で事業を実施。実験、挑戦、成果を蓄積し、「新たな人材、新たな知恵、あらたな手法の開拓」にも取り組む。
- ・事業実施に向けた機運の醸成  
 府内で活躍する40歳以下を中心とした若手プロデューサー等に呼びかけを行い、「U40ミーティング」を開催し、ジャンル間の交流や新規事業実施に向けたキックオフを実施。



#### ◇調査機能、その他

##### ○事業評価の質の向上や評価する人材育成の取り組み

- ・府市の文化事業を題材としたアーツマネージャー育成講座の実施【H27】

##### ○アーツカウンシルの情報発信強化の取り組み

- ・アーツカウンシルホームページの開設【H25】
- ・アーツカウンシル出張ルームの設置（江之子島文化芸術創造センター内）【H26】

### 【アーツカウンシルの取り組みをもとにした文化施策の推進】

- 提言をもとにした新たな文化事業の実施 ⇒ 芸術文化魅力育成プロジェクトの実施 (H27.10～11)  
 アート、音楽、演劇等の大阪にある優れた文化事業を結集し、磨きをかけ、強力発信するため、府内の若手プロデューサーが果敢に挑戦して合同で作り出すプロジェクトを具体化（準備作業中）  
 ・「知る」プログラム……上方伝統芸能のショーケース、ワールドミュージック公演等  
 ・「体験する」プログラム……上方伝統芸能の体験ワークショップ、伝統芸能と現代アートのトーク  
 ・「本物を見る」プログラム……伝統芸能と現代アートのコラボレーション公演、新作演劇の公演等

##### ○事業の検証評価をもとにした文化事業のPDCAサイクルの取り組み

提言やアドバイスに対して対応可能なものから直ちに具体化  
 例) 上方演芸資料館の直営による機能強化、補助金説明会の合同実施、個別事業の見直し等

##### ○アーツカウンシルによる情報発信の強化（ホームページアクセス件数の推移）

H26.4～H27.3 35,107件（月平均 @2,926件）  
 H27.4～H27.5 8,743件（月平均 @4,372件）